

2022年 生理科学実験技術トレーニングコース アンケート

オンラインコース受講者(3コース):男性61名、女性15名、合計76名、うち、アンケート回答者37名(回答率49%)
 現地コース受講者(全て開催中止):男性38名、女性32名、合計70名、うち、アンケート回答者47名(回答率67%)
 コロナウイルス感染拡大による現地コース全中止にともなう、オンラインコースとそれ以外でアンケート内容を一部変更した。
 質問11以降は今年度より新たに追加した。

アンケート項目(太字の質問の回答を数値として集計)

01. このトレーニングコースを何で知りましたか？(複数選択可)
02. 何回目の参加ですか？
03. 参加動機は？(複数選択可)
04. インターネットでの応募方法や電子メールによる連絡は？ あてはまるものを選んでください。(複数選択可)
05. ホームページの内容は？
- 05-2. ホームページに載せてほしい情報
06. 受講料10700円は？
07. トレーニングコースに参加するためにかかった交通費・宿泊費の負担についてお伺いします。
08. 受講料・交通費・旅費の補助を、研究費・研究室・会社などからうけましたか？
09. 実習期間は？
10. 実習内容は？(オンラインのみ)
- 11-1. 講演の視聴形式
- 11-2. 生理学研究所の紹介生理学研究所について理解はすすみましたか？
- 11-3. 総合研究大学院大学の紹介:総合研究大学院大学の紹介 についていかがでしたか？
- 11-4. 研究講演:講演内容はいかがでしたか
- 12-1. 交流会の感想(複数選択可)
- 12-2. 交流会の部門紹介について改善点をお聞かせください。
- 12-3. 交流会について自由に意見をお聞かせください。
- 13-1. 受講コース名を選択してください
- 13-2. 実習の感想(中止コースの場合独自の自主的な講義や実習を含む)
14. テキストに関する改善点・要望をご記入ください
15. コースの中止について(中止コースのみ)
16. 生理学研究所及びトレーニングコースの感想・要望などをご記入ください。

参加者の身分(人)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
学部学生	6	7	10	13	9	19	15	10	13	12	9	19
大学院生(修士)	29	27	24	27	17	25	31	30	39	24	32	33
大学院生(博士)	30	35	38	33	35	31	41	28	26	27	29	52
大学等の研究員(ポスドク)	12	9	10	8	9	5	14	7	8	8	6	8
企業の研究者	9	8	7	9	12	9	11	13	16	10	3	21
国立研究所などの研究者	1	2	1	2	2	1	1	2	1	3	1	2
助手・講師	8	8	7	6	11	5	9	11	9	19	13	17
その他	4	3	4	3	4	4	5	7	4	4	5	6

所属学会は？(複数回答可)(人)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
日本生理学会会員	-	-	5	7	4	3	7	13	7	2	7	10
日本神経科学学会会員	-	-	22	19	17	13	21	14	19	15	17	30
該当なし	-	-	75	78	79	82	-	-	-	-	38	65
上記以外の所属学会 (2022年度参加者回答分)	Association for Chemoreception Sciences Organization for Human Brain Mapping Vision Science Society 北米神経科学学会 日本栄養・食糧学会 日本てんかん学会 日本寄生虫学会 日本古生物学会 日本社会心理学学会 日本獣医学会 日本生体医工学会 日本疼痛学会 メディカルAI学会会員 応用物理学学会 計測自動制御学会 行動経済学会 高分子学会 歯科基礎医学会 電気学会 日本マインドフルネス学会 日本医学放射線学会 日本応用糖質科学学会 日本応用動物昆虫学会 日本音響学会 日本化学会 日本解剖学会 日本学校保健学会 日本癌学会 日本教育工学会 日本結合組織学会 日本口腔外科学会 日本高圧力学会 日本高次脳機能障害学会 日本細胞生物学会 日本視覚学会 日本歯科基礎医学会 日本歯周病学会 日本磁気共鳴医学会 日本小児科学会 日本小児神経学会 日本心理学会 日本神経回路学会 日本神経学会 日本神経感染症学会会員 日本神経心理学会 日本神経精神薬理学会 日本神経病理学会 日本神経放射線学会 日本進化学会 日本人類学会 日本腎臓学会 日本睡眠学会 日本生化学会 日本生物学的精神医学会 日本生物物理学会 日本生薬学会 日本生理心理学会 日本生理人類学会 日本精神神経医学会 日本精神神経学会 日本組織培養学会 日本蛋白質科学会 日本電気学会 日本糖質学会 日本糖尿病学会 日本動物学会 日本毒性学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本認知・行動療法学会 日本認知心理学会会員 日本認知療法・認知行動療法学会 日本農芸化学会 日本病態プロテオーム学会 日本不安症学会 日本物理学会 日本補綴歯科学会 日本防菌防霉学会 日本薬学会 日本薬物動態学会 日本薬理学会 日本臨床神経生理学会 日本豊長類学会 日本老年歯科医学会 日本分子生物学会											

アンケート 回答

1. このトレーニングコースを何で知りましたか？（複数回答可）（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
インターネット	29	20	32	23	37	22	26	21	23	21	25	22
雑誌等の広告	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	2
友人・知人・先生の紹介	69	78	74	77	75	64	81	77	64	62	58	51
ポスター	10	9	12	14	5	9	7	12	15	12	-	-
以前参加したことがある	9	6	6	3	6	2	7	5	5	1	7	7
学会の案内	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	2	3
その他	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	1	8

※2021年はポスターを作成せず、雑誌等への広告掲載はしなかった

2. 何回目の参加ですか？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
初めて	-	-	88	96	93	95	93	92	91	78	78	76
二回目	-	-	9	2	6	4	5	5	8	0	5	6
三回目以上	-	-	2	2	1	0	1	0	0	2	2	2

3. 参加動機は？（複数回答可）（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
自分の研究のレベル向上	89	84	87	84	86	101	96	91	91	74	74	81
新たな分野を研究したい	49	48	55	47	49	43	39	30	33	36	27	31
他の研究者との交流	37	39	34	47	48	44	47	35	40	29	14	28
生理研や総研大に興味があった	20	16	19	21	18	30	16	20	11	11	14	16
その他	1	4	1	1	3	2	2	0	2	0	0	2

4. インターネットを使った応募方法や電子メールによる連絡は？（複数回答可）（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
便利でよかった	95	100	98	98	99	86	103	94	99	78	82	83
日頃メールを使わないので不便だった	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
やり方がわかりにくかった	1	0	2	1	0	3	2	1	1	3	2	1
連絡があまり来なくて心配だった	5	1	2	2	3	6	2	2	1	1	6	0
連絡が多すぎた	0	0	2	0	1	2	5	1	1	2	0	0
その他	-	-	2	0	4	0	2	1	2	0	1	2

5. ホームページの内容は？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
大変わかりやすかった	-	-	19	32	28	19	32	26	25	25	36	28
わかりやすかった	-	-	61	46	57	40	50	56	58	50	32	42
普通	-	-	16	15	14	15	14	13	10	4	12	13
わかりにくかった	-	-	4	5	2	5	4	3	6	1	4	1
全然わからなかった	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

6. 受講料(10,700円)は？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
高い	7	7	4	5	5	5	5	7	7	6	4	6
ちょうどいい	56	66	66	73	69	70	69	63	70	49	60	66
安い	37	27	30	23	26	24	25	28	22	25	21	12

※2013年以前は受講料10,200円、2014～2019年は10,500円、2021年～は10,700円

7. トレーニングコースを利用するためにかった交通費・宿泊費は？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
負担が大きい	15	12	7	7	12	13	11	14	10	6	1	5
これくらいはやむを得ない	69	70	80	76	74	73	76	65	72	54	18	29
大した負担ではない	16	18	12	16	14	12	14	18	17	19	9	10
オンラインコース受講のため負担はなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	40

8. 受講料・交通費・旅費の補助を、研究費・研究室・会社などから受けましたか？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
すべて自己負担	42	52	50	41	40	41	40	36	38	23	37	33
部分的に(およそ2/3まで)補助を受けた	14	10	10	11	9	8	8	9	10	3	2	2
ほとんど(およそ2/3以上)補助を受けた	44	38	40	48	51	50	52	51	50	53	46	49

9. 実習期間は？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
長い	1	3	3	3	6	3	5	2	5	2	3	5
ちょうどよい	74	76	72	77	72	78	76	82	83	71	74	76
短い	25	20	25	19	22	18	17	14	11	7	8	3

10. 実習内容は？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
大変満足	63	64	58	59	69	69	71	62	64	54	60	25
満足	34	35	36	35	27	30	35	34	30	21	24	12
まあまあ	2	1	5	5	3	0	4	1	4	4	1	0
少し不満	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
かなり不満	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2022年はオンラインコースのみ

11-1. 初日の全体講演の視聴方式（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
Zoomによる視聴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
オンデマンドによる視聴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
Zoomとオンデマンドの両方	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
視聴していない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

※2022年はオンライン開催

初日の生理学研究所・総合研究大学院大学の紹介はいかがでしたか？（複数回答可）（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
参考になった	-	-	-	66	68	75	72	67	62	47	-	-
有意義だった	-	-	-	16	14	27	23	14	14	16	-	-
生理研・総研大に興味を湧いた	-	-	-	25	29	19	26	33	26	24	-	-
退屈だった	-	-	-	9	4	7	6	7	6	7	-	-
時間の無駄だった	-	-	-	2	4	1	2	2	4	0	-	-
その他	-	-	-	5	3	2	2	2	3	4	-	-

※2021年はコロナウイルスの影響のため全体講演・交流会は中止

11-2. 初日の生理学研究所の紹介（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
理解できた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76
よくわからなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
興味がけない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

※2022年はオンライン開催

11-3. 初日の総合研究大学院大学の紹介（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
興味がわいた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
特に興味がなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
知っていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22

※2022年はオンライン開催

初日の講演（複数回答可）（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
ためになった	74	65	65	44	53	43	59	46	38	36	-	-
面白かった	65	51	67	70	68	81	78	64	60	63	-	-
難しかった	22	38	29	20	29	22	19	19	27	16	-	-
興味がけない分野で退屈だった	2	7	5	3	5	8	7	6	13	2	-	-
内容が簡単でつまらなかった	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	-	-
その他	4	6	2	3	6	8	3	5	2	0	-	-

※2021年はコロナウイルスの影響のため全体講演・交流会は中止

11-4. 初日の研究講演（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
大変満足	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
満足	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43
まあまあ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
少し不満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
かなり不満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

※2022年はオンライン開催

12-1. 全体の交流会は？（複数回答可）（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
研究所スタッフとの交流ができた	51	54	55	57	64	64	72	58	58	46	-	30
他の参加者との交流ができた	68	71	78	69	65	79	78	70	66	52	-	18
有意義だった	49	44	54	48	50	54	56	61	48	35	-	25
面白かった	36	36	48	44	41	44	46	32	32	27	-	17
時間の無駄だった	0	1	0	0	2	1	0	2	0	0	-	0
不参加	14	13	6	10	8	3	9	10	8	11	-	43

※2021年はコロナウイルスの影響のため全体講演・交流会は中止、2022年はオンライン開催

交流会の飲食はいかがでしたか？（人）

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
大変満足	-	-	-	-	-	-	17	23	22	9	-	-
満足	-	-	-	-	-	-	46	38	39	28	-	-
まあまあ	-	-	-	-	-	-	23	24	30	23	-	-
少し不満	-	-	-	-	-	-	5	4	3	11	-	-
かなり不満	-	-	-	-	-	-	1	0	0	2	-	-

※2021年はコロナウイルスの影響のため全体講演・交流会は中止、2022年はオンライン開催

5-2. ホームページに載せてほしい情報

1. 使えるソフトについてのことなど
2. 応募前の段階でそれぞれの日の講義の開始・終了時間くらいまでは公開していただけると、予定が立てやすく応募する側としてはありがたいです。
3. 各コースごとの大まかな日程について。また、8/1 午前に共通の講義があることは前もって知らせてほしかったです。
4. 実習中の様子を写した写真
5. コースで扱う詳しい内容や詳細な日程はホームページでわかりませんでした。メールで問い合わせたところすぐに答えていただけたので助かりました。
6. 生理研共同研究というのに実際に何にいくらかかるのか、実費の掲載があると肌感をつかみやすいかと存じます。
7. 各コースで習得・体験できる技術の一覧など
8. ロッジの受け入れ目安等。参加申し込みをした段階で、ホテルも予約しておいた方がいいのかの判断材料になるため。
9. レイアウトはもう少し見やすい方がよいかもしれません。情報が散らばっている感じがある。

12-2. 交流会の部門紹介について改善点をお聞かせください。

1. 時間が短い
2. 現状のままでよいと思います。
3. カテゴリごとに分けてもよかったかもしれません。
4. 個々の部門の紹介はわかりやすかったが、全体像は掴みにくかった。紹介の順番はどこかに掲載していただくと分かりやすいかもしれない。
5. 最初に全部門の表示で、今どこ(順番の数字など)というのがわかると親切だったと思います。
6. 各部門の現在の研究等がまとまっていて大変わかりやすかったです。
7. 特に不足や不満はないのですが、近い分野などがつづいたり、いくつかグループ分けされて、関連分野の研究部門のセッション区切りなどがあると、組織的な構造が理解しやすいかと思いました。
8. 急な用事で参加できず残念でした。
9. 13-2. 実習の感想(中止コースの場合独自の自主的な講義や実習を含む)

12-3. 交流会について自由にご意見お聞かせください。

1. 大変よかったです。
2. 丸一日講義・実習を受けた後で参加するのは体力が持たず、欠席してしまいました。スケジュールにもう少しゆとりがあるとありがたかったです。
3. 人数の多いブレイクアウトルームだったこともありますが、発言がしにくく、オンラインでの交流は難しいと感じました。全員が発言するには時間が短かったので、せめて参加して下さっているスタッフの方の自己(研究)紹介など聞けると良かったかと思います。
4. 他の方の話を聞いて良かったです。
5. 所属領域の自由時間がもう少し長くても良いように思いました。
6. 全体の交流会とコースの交流会を分けるのがいいと思いました。
7. 人数が多すぎるルームではしゃべることができなかつた、時間はあと 30 分ぐらいあってもいいのかもしれないと思った
8. 楽しかったです。
9. 細かい点だが、ルームの名前に部門名と一緒にコース名を掲載していただくと分かりやすいかと思った。
10. 時間が短すぎると思いました。
11. 自分の参加しているコース外の研究所の先生方にお話を伺うことができ大変満足致しました。
12. 部門の先生やスタッフの方と、他の参加者との交流ができて大変有意義でした。他の参加者もそれぞれ部門の研究と関連があったりするので、ある程度背景などが分かると、より交流しやすいかなと思いました。
13. 研究所のスタッフの皆さんと直接お話しでき、刺激を受けました。参加者の中で始めて参加したのは私だけでしたが、歓迎して頂けて嬉しかったです。
14. どのブレイクアウトルームに入れば良いか分からず、間違えて途中退出してしまいました
15. オンサイトが中止になってしまったため、学内の用務が発生し、交流会にほとんど参加出来なかつた。(当方の問題ですが…)
16. リアルの交流会では、偉い先生同士で話していることが多く話しかけられないが、zoom のブレイクアウトルームのシステムでは入室すれば強制的に会話の中に入ることができるのは、若手や学生にとっては良いかと思いました。
17. 急な用事で参加できず残念でした

13-1. 受講コース名を選択してください(アンケート回答者の採択コース)

16.「SPM を用いたヒト脳の fMRI データ解析入門」(オンライン)	19
17.「脳波ダイナミクスのデータ解析入門」(オンライン)	8
20.「拡散強調 MRI データ解析による白質線維束分析入門」(オンライン)	10
01.「In vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析」	2
02.「パッチクランプ法を用いた温度感受性 TRP チャネル解析」	4
03.「スライスパッチクランプ法を用いた神経活動・シナプス・回路解析」	5
04.「培養細胞と組織凍結切片の蛍光免疫染色法」	2
05.「クライオ電子顕微鏡によるタンパク質の単粒子構造解析」	5
06.「海馬神経初代培養法とシナプス超解像観察」	1
07.「2光子顕微鏡による細胞内分子活性化の FRET イメージング」	2
08.「最新の蛍光顕微鏡法を用いた生理機能の可視化解析」	5
09.「In vivo 4次元心循環機能計測と心筋細胞の機能評価」	0
10.「ウイルスベクターの作製と導入遺伝子の発現観察」	1
11.「ゲノム編集による遺伝子改変動物作製のための発生工学技術」	1
12.「マウスの基本的実験手技と学習・記憶行動解析入門」	3
13.「脳特定部位内への薬物微量注入法と摂食行動解析入門」	1
14.「覚醒下実験動物からの神経活動記録法入門」	5
15.「霊長類を対象としたシステム神経科学実験入門」	1
18.「神経細胞の連続電子顕微鏡画像撮影と3次元再構築画像解析法」	1
19.「生体多細胞活動計測と操作」	6
21.「フローサイトメーターによる免疫細胞の解析」	2
22.「生体アンプ回路工作と機械工作入門」	0

13-2. 実習の感想(中止コースの場合独自の自主的な講義や実習を含む)

オンラインコース

(16.「SPM を用いたヒト脳の fMRI データ解析入門」)

1. 一から丁寧に教えて下さり、全体の流れがよく分かった。いままで全く分かっていなかったことがつながっていき様子が分かり、大変勉強になりました。実習の際も、吉岡さんのテンポがちょうどよく、ついていくことができた。実際に SPM を動かすことができ、感動した。学びきれていない部分もあると思うため、しっかり復習したい。
2. 非常に役に立った。実益がある。
3. 研究課題としてやらないといけなかったので参加しましたが私にはレベルが高かったようです。しかしそれでも拾っていただき丁寧に教えていただけて大変有難かったです。
4. 非常に濃い 4 日間でした。スタッフの方のサポート体制もよく、専門的な知識を得ることができ良かったです。今後に役立てたいと思います。4 日間に内容を詰め込んでくださったのはとてもありがたかった反面、もう少しスケジュールに余裕があるとありがたかったです。(9 時間くらい PC をずっと見ているのは結構きつかった)
5. 解析方法から論文での記載方法まで、幅広く詳しく教えていただき、とても参考になりました。
6. 初心者でしたが丁寧に説明していただきました。
7. テキストが整っておりわかりやすかった。
8. 基礎から応用まで充実していました。
9. とても良かった
10. 説明が大変わかりやすく、先生方のサポートも丁寧で、大変ありがたかったです。来年も別の部門に興味があればぜひ参加したいと思いました。休憩が短く、1 日のスケジュールが長くて体力・集中力ともに維持が大変でした。例えば講義の部分は部分的にでも動画による事前自主学習にしたり、多少期間が長くなってももう少し分割して受講したりできればありがたいです。

11. 大変丁寧に説明いただき、SPM についての理解が進みました。
12. 自分だけでは学べないようなお話や、丁寧にわかりやすい説明で、本当に勉強になる実習でした。今後自分でも fMRI の研究をしていけるような気がしています(実際には色々壁にぶつかることはあると思うのですが)。ありがとうございました！
13. 座学の講座が非常にわかりやすかった。特に河内山先生の統計の話はわかりやすく、かつ重要な内容なので、大変よかった。要望としては、個人解析がわからないとその先で躓くので、個人解析の座学にもっと時間をとって欲しい。
14. 事前に SPM 解析を数回おこなっていたので理解がしやすく、全く初めての状態であつたら遅れずについていくのは難しかったと感じています。そのため MUST にはせず、事前に自己学習としての課題設定があつたら良いと思いました。

(17.「脳波ダイナミクスのデータ解析入門」)

1. 実習の中でのつまずきや疑問点に関し、大変丁寧に対応いただけ自分のような初心者でも脱落することなく最後まで実習内内容を理解できた。
2. slack をもちいて文献情報や関連情報を適宜共有いただけたことも、今後自分自身で勉強していくうえでありがたかった。
3. わりと基本的なところから始まったので、matlab に慣れてなくてもついていくことができました。今後の研究に役立つ内容だったと思います。
4. 脳波解析手法を詳細に学べて、大変参考になりました。
5. 非常に丁寧に説明をしてくださり、理解が深まりました。実際に手を動かしながら学べた点も良かったです。
6. 理論の説明と丁寧なプログラミング補助があり、分かりやすかった。

(20.「拡散強調 MRI データ解析による白質線維束分析入門」)

1. 大変勉強になりました。今後の自身の研究に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
2. 講師の竹村先生が、お一人であるにも関わらず、ものすごく丁寧かつ明快に一人ひとりに向き合ってくださいだったので非常にありがたかったです。講義の内容は、どうしてこういう研究をするのかという目的や利点・欠点も明示したものでした。また、講義後のすべての質問に親切丁寧にご回答いただけました。今回は実習生が 10 名だったため、講義後の議論や各グループでの議論で遠慮がなく、非常に盛り上がったと思います。ですので、来年以降の受講生にもこの充実感を味わって欲しく、あまり大規模なコースにしないほうがよろしいかと、勝手に思います。
3. 楽しかったです。ありがとうございました！
4. 全体的に詳しく、とても丁寧に教えていただいてこれ以上ない有意義な時間を過ごせた。
5. 少人数ならではの良さだったと思う。
6. ソフトウェアの使い方を学ぶだけでなく、拡散強調 MRI の本質的なことについて分かりやすく講義していただき、大変勉強になった。わかっているつもりでわかっていなかった、勘違いをしていたことも多く、正しく理解することができ有意義だった。実習についても多くの参加者は積極的に関わっておりお互いにコミュニケーションを取れたこともよかった。ほんとどお一人で 3 日半の講義・実習監督をされた竹村先生は大変だったと思うが、拙い質問にも丁寧に答えてくださり、なんとかついていくことができた。
7. 全体の人数が少なかったことは、お互いの議論や質問の時間をしっかり取れてよかったと思う。数人ずつに分かれてブレイクアウトルームで作業するのは大体同じように進んでいる人同士だと良かったが、一部全く準備をしてきていない人がルームにいと全員の迷惑になるので、必要なソフトウェアの準備ができたかどうか位は事前にチェックをしても良いのではないかと思った(ABIS でやっているようななんらかのスクリプトを走らせて結果の数値を報告したりなど)。
8. 実習では基本的なトラクトグラフィの描出までだったが、講義では pyAFQ などのトラクトプロファイルについても教えていただいた。次回はぜひこちらも実習に含めてほしい。
9. とても勉強になりました、まだまだこれからもお世話になると思えます。
10. 実習をさせていただきまして誠にありがとうございました。
11. 白質繊維や MRI の基本的な内容から、白質繊維の解析の歴史、どういう風にして解析をしているのか、さらに Advance な解析までを学ぶことができ大変充実した実習でした。「ソフトウェアのボタンのポチポチおして勝手に解析が終わる」ということではなく、そのうらでどのような解析がされているのか、その本質を学ぶことができました。
12. また、人数も 10 人と大変ちょうどよいと思えました。ブレイクアウトルームに分かれた実習をした際にも先生が見回りに来てくださり十分時間をとって質問ができたため、実習に遅れることなく、かつ理解が深まり進められたと思います。
13. 少人数で丁寧なサポートが受けられて良かったです。次年度以降もこのような形式で行われると良いと思えます。

中止コース

(01.「In vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析」)

1. コースは中止になってしまったが、講義を行なっていただき、非常に感謝している。

(02.「パッチクランプ法を用いた温度感受性 TRP チャネル解析」)

1. 現地で受講予定のものと同様の内容でご講義くださり、誠にありがとうございました。大変勉強になりました。
2. 今回は実習が実施されず残念でしたが、次の機会に再チャレンジしたいと思います。コース独自のオンライン講義は、充実した内容でした。私は初心者で予習の段階ではパッチクランプについてよく理解できませんでしたが、講義を通しておおまかなイメージを掴むことができ、実際に体験してみたいと思いました。
3. 実際に見て、あるいは体験して学習することは叶わなかったが、実際に行うことを想定した講義から、基礎理論だけでなく機材のことや実験で注意すべきところなど丁寧に教えていただいたのでためになった。
4. 05.「クライオ電子顕微鏡によるタンパク質の単粒子構造解析」
5. zoom でラボ見学をしていただきました。具体的なイメージが増しました。

(12.「マウスの基本的実験手技と学習・記憶行動解析入門」)

1. 今年度中止のため参加できなかった人は来年度優先的に参加させていただける等の措置があれば嬉しいです。
2. オンラインでの講義を行っていただき行動試験での注意点や試験方法を学ぶことができました。少人数であったため質疑も時間をとっていただき理解を深めることができました。
3. 現地での開催ではなく遠隔の講義という形でしたが、質問等にしっかり答えていただき、非常に有意義な時間でした。

(14.「覚醒下実験動物からの神経活動記録法入門」)

1. テキストを含め講義全体を通して詳細な説明があり満足している。実習は出来なかったが、今後の希望に合わせて実習の機会も用意して下さるとの事で、寛大な対応に感謝している。
2. ソフトウェアの実習が楽しかった。私の研究室では matlab を使用しているので、違うソフトに触れることができてよかった。
3. 急なオンラインにも関わらず、丁寧に運営していただき興味深い内容を聴講できました。
4. 突然のオンライン講義への変更となってしまいましたが、その中でも分かりやすいようにリアルタイムで実験を行っている場面を映していただいたり、PP 中に実験動画を載せるなどして頂いたためとても有意義な時間を過ごせました。ただ、やはりオンラインだとできること・見せて頂けることが限られてしまうので機会があれば実際に生理研へお伺いして手法を学びたいなと思いました。
5. オンラインになってしまったので実践はできませんでしたが、実験の風景を見学できてよかった。

(18.「神経細胞の連続電子顕微鏡画像撮影と3次元再構築画像解析法」)

1. 担当の先生から、7/25 に PCR 陰性証明(7/29,7/30,8/1 のいずれか)を求められたが、なかなか予約が取れずに苦労したので、もし必要なら早めに連絡して下さるとより助かります。

(19.「生体多細胞活動計測と操作」)

1. 後日、現地で開催して頂けるとのことですので、現時点ではコース独自の講義や実習に対する感想はございませんが、このような対応をして頂けて感謝しています。

(21.「フローサイトメーターによる免疫細胞の解析」)

1. 先生の論文は拝見していたので、是非実習に参加したかった。

14. テキストに関する改善点・要望をご記入ください

オンラインコース

(16.「SPM を用いたヒト脳の fMRI データ解析入門」)

1. 大変詳しく、また見やすかったのが良かった。
2. わかり易い。
3. レベルが自分だけひくいので何とも言えません。ハイレベル用のテキストだと認識いたしました。
4. わかりやすかったです。
5. とても良かった
6. 充実した内容と思いました。付録も充実しており、満足しております。普段日常臨床に携わるため、よく使う SPM については理解が進んだのですが、デザインについては、自分でももう少し勉強しないと、講義内容に追

いつけないと思いました。double dipping についてですが、特徴量からグラフを作成した実習の翌日に、同様な手法が良くないようなお話だったので、浮かんた「なぜ？」に答えが出せず、思考がストップしてしまいました。最も理解する必要があるところだけだだけに、残念でした。

7. 詳細で丁寧なテキストで、これから振り返りながら勉強していこうと思います。
8. 一部テキストの画像落ちがあったので、資料をアップデートしていただきたいです。

(17.「脳波ダイナミクスのデータ解析入門」)

1. 非常にわかりやすい資料をありがとうございました。

(20.「拡散強調 MRI データ解析による白質線維束分析入門」)

1. テキストについてはもう少し詳しく書いていただけると予習等しやすいと感じた。
2. 事前に導入のテキストを送っていただいたが、分かりやすく予習に役立った。
3. 総説として拝読して面白かったです。
4. 大変まとまっていてわかりやすかったです。

中止コース

(02.「パッチクランプ法を用いた温度感受性 TRP チャネル解析」)

1. テキストを拝見しましたが、非常に細かい部分まで説明されており、特に改善点などは思いつきませんでした。

(05.「クライオ電子顕微鏡によるタンパク質の単粒子構造解析」)

1. 丁度良いです

(14.「覚醒下実験動物からの神経活動記録法入門」)

1. 印刷してテキストに書き込みたかったがページ数が多くて印刷出来ず。書き込みも制限されていてメモを取るのが難しかった。
2. 細かく記載されていてわかりやすい。スライドの PDF はもう少し拡大してもらった方がよいかもしれません。
3. 実際にマウスに電極を挿入し、測定する場合の手順・注意点などが載っていればありがたいなと思いました。
4. むしろテキストがもらえて嬉しいです。

(19.「生体多細胞活動計測と操作」)

1. 実際にやることをイメージできたので、特にごさいません。

(21.「フローサイトメーターによる免疫細胞の解析」)

1. よくできていると思います

15.コースの中止について(中止コースのみ)

1. やむを得ない。適切な判断と思う
2. コースへの参加を楽しみにしていたので残念だが、仕方がないと思う。
3. 直前のご判断になられた事はやむを得ないと存じます。感染状況から適切にご判断をしていただき、また、メールでの中止理由を拝見した際には納得しました。
4. 大変残念ではありますが、参加者やスタッフの皆様の安全を考えると致し方ないかと思ひます。この状況が少しずつ改善し、通常通りに開催できるときを切望致します。
5. やはり現地で実習に参加したかったが、仕方がないことだと思ひます。
6. 現状では妥当な判断だったと思ひます。事務局の皆様は中止によって返金など対応する業務が増えて大変だと思ひます。お疲れ様です & ありがとうございます。
7. 延期にしてほしかったです。
8. 来年ぜひ開催して頂きたいです
9. すごく楽しみにしていたのでショックが大きかったです。
10. 残念だが、仕方がなかった。
11. 楽しみにしていたので残念ですが、こればかりは致し方なしと思ひます。
12. 残念でしたが、現地での療養が必要になった場合や公共交通機関の利用が必要になることなどを考慮すると中止は当然と感じました。
13. 感染症の蔓延状況を鑑み、様々な対応をしていただきありがとうございます。返金手続き等もご多忙かと存じますが、ありがとうございます。
14. また来年応募します。

15. 志望動機や準備に工数がかかったので、別日程でも実施してほしい
16. もう少し早く通知してほしかったです。
17. 出来ればもう少し早く決めて頂きたかったです。
18. 今年度中止のため参加できなかった人は来年度優先的に参加させていただける等の措置があれば嬉しいです。
19. このような状況ではやむを得ないと思いましたが、できれば1週間前には判断をしていただきたかったです。もし可能であれば今回受講予定であったオンサイトでの実習を感染状況が落ち着いたところに再度応募させていただきたいです。
20. 非常に残念でしたが、仕方のないことだったのではないかと思います。また、このような機会がありましたら次は現地で講習を受けたいと思います。
21. 残念でしたが、感染者が多く、自らも陰性である証明が難しかったので仕方なかったと感じています。
22. 実家が豊橋でトレーニングコース中は帰省するつもりだったので、大きな影響はなかった。現地開催が中止になったが、連日の新規感染者数の増加をニュースで聞いていたので中止になるかもとは予想していた。直前に中止決定は仕方がないことだと思う。
23. 現場でのトレーニングがないとやはり物足りない。
24. かなり急でしたので大変でした。
25. 非常に残念ですが、仕方のないことだと思いますし、良い判断だったと思います。
26. 仕方がなかったと思います。代替の実施形式について、参加者の要望に答えようとしてくださって、ありがたかったです。
27. 現地開催のコースが中止になってしまったことは大変残念ですが、私が参加するコース 19 は後日、現地での開催を検討して頂けてますので非常に有り難く感謝しています。
28. 仕方ないと思います。コース側で後日、可能であれば見学を受け容れてくださるとのことなので、期待しています。
29. 残念でしたが、担当部門の方々にフォローアップをしていただいて本当に感謝しております。
30. 昨年度から現地開催コースに参加できていないため、中止されたコースに関しては時期をずらして開催を行っていただければありがたい。
31. 直前の中止となってしまいましたが、1週間ほど前から全国的な感染者の急増があったこと、また全国から多数の人が施設に集まることを踏まえるとやむを得ない判断であったと思います。
32. 参加できずに残念でした。

16. 生理学研究所及びトレーニングコースの感想・要望などをご記入ください。

1. 大変有意義で勉強になりました。受講できてよかったです。皆様の解説が丁寧で分かりやすかったですし、定藤先生の講演も興味深く、全体として楽しみながら勉強することができました。slack で質問も即時回答してくださり感動しました。今後の研究に大いに役立てることができそうです。準備から当日まで、長い時間を割いて下さり、本当にありがとうございました。
2. 上述の如く丁寧に説明頂きまして誠に有難うございました。
3. 新型コロナの流行が少し落ち着いたなら、是非オンサイトで開催していただきたいです。
4. 休憩時間の目安を提示してほしかったです。
5. もし可能であれば、デザインから先についてももう少し講義をゆっくりお聞きしたいと思いました。
6. 定藤先生が今年度で退官ということで、fMRIのコースはなくなってしまうのかもしれませんが、今回参加し、日本のfMRI研究の基盤となるような大切なコースだと思いました。先生方のご負担もあると思うので、コースという形が難しかった場合でも、何かしらの形で本コースの知見やノウハウを世に出していただければ、今後の日本の脳研究にとって良いように思いました。ありがとうございました。
7. またSPMのトレーニングコースを受講したい。
8. オンラインなので自分のやりやすい環境を作った上で参加が出来たので、受講中に困った状態にはなりません。進め方は説明が丁寧で分かりやすく、追いつかない状態でも待っていただいたので、最後まで追いつけない状態にならずに受講することが出来ました。ありがとうございました。
9. 次は、ぜひ対面でも参加してみたいです。
10. 時間的にタイトかと思いますが、PIの先生方の研究歴ご紹介など、若手がキャリアをデザインする上で参考になるお話も聞いてみたいと思いました。
11. 病院勤務だと平日4日間の講習への参加はなかなかハードルが高いが、十分以上に見合う講義と実習だった。来年以降も是非参加させていただきたい。
12. 実習をさせていただき誠にありがとうございました。
13. 今後も開催のほどよろしくお願いします。
14. 企画くださったオンライン講義では自身の研究に繋がる学びとなったと共に、オンライン交流会では先生方や参加者の皆様とご交流できたことは大変貴重な経験となりました。誠にありがとうございました。

15. 最先端の研究が行われる研究所で、実際に使用される手技を用いて研究を体験できるのは、大変に有意義で価値の高いものと考えます。大学生、院生のみならず社会人研究者にまで参加の門戸を開いているのは、国内の様々な研究機関(公・私共)の研究開発力の底上げに資するものと考えます。さらに欲を言えば、高校生にまで対象を広げる(その場合はレベルに応じた別個の実施となると思いますが)と、より自然科学分野の研究に興味を持つ人の裾野が広がるのではないかと期待されます。
16. 今回は実習ができず残念だったが、ぜひ同じようなイベントをまたやってほしい。
17. また開催していただきたいです。
18. また機会がございましたらぜひ参加させていただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。
19. 今年度中止のため参加できなかった人は来年度優先的に参加させていただける等の措置があれば嬉しいです。
20. 今回は中止となり参加できなかったのですが、近いうちにこのような機会があればうれしいです。
21. 可能であれば、次年度も参加したい。
22. 現地開催中止となってしまいましたが、オンライン形式で受講できるよう準備してくださったのでとても感謝しています。
23. 毎年、このようなトレーニングコースを開催して頂き有難うございます。私のような学生でも参加できる点が非常に良いと感じています。
24. 来年度以降もぜひご開催ください。楽しみにしております。
25. コロナ禍にあっては、全てのコースを一度に開催するのではなく、数部門ずつを何回かに分けて開催してはどうか。(運営される方のご苦労は増すとは思いますが、)